

## 徐放性製剤について

医薬品の中には、薬物に特殊な加工を施すことで、本来の薬物動態とは異なる挙動を示すように設計されたものがあります。特に、消化管での薬剤の崩壊速度や溶出速度等を低下させることで半減期や最高血中濃度等を調節したものを徐放性製剤といいます。薬剤の徐放化により、血中濃度の上昇による副作用の回避や、一定の薬効の持続、また、服用回数の減少によるコンプライアンスの改善等が期待できます。一方で、徐放化されていない同一成分薬が存在する場合には、各々で用量・用法が異なるために、投薬の際には注意が必要となります。

以下に、当院採用の徐放性製剤（経口）についてまとめました。

一般名	徐放性製剤	非徐放性製剤
アンブロキシール塩酸塩	ムコソルバン L 錠 45mg	ムコソルバン錠 15mg ムコサールドライシロップ 1.5% 小児用ムコソルバンシロップ 0.3%
オキシドン塩酸塩水和物	オキシコンチン錠 5mg オキシコンチン錠 10mg オキシコンチン錠 20mg オキシコンチン錠 40mg	オキノム散 2.5mg オキノム散 5mg オキノム散 10mg オキノム散 20mg
ジクロフェナクナトリウム	ボルタレン SR カプセル 37.5mg	ボルタレン錠 25mg
硝酸イソソルビド	イソコロナール R カプセル 20mg	ニトロール錠 5mg
(リン酸)ジソピラミド	ジソピラミド徐放錠 150mg「SW」	ジソピラミドカプセル 100mg「ファイザー」
ジルチアゼム塩酸塩	ヘルベッサール R カプセル 100mg	ヘルベッサール錠 30
タクロリムス水和物	グラセプターカプセル 0.5mg グラセプターカプセル 1mg	プログラフカプセル 0.5mg プログラフカプセル 1mg プログラフ顆粒 0.2mg
テオフィリン	テオドール錠 50mg テオドール錠 100mg テオロング錠 100mg ユニフィル LA 錠 200mg テオドールドライシロップ 20%	-
トラマドール塩酸塩	ワントラム錠 100mg	トラムセット配合錠 トラマール OD 錠 25mg

ニフェジピン	アダラート CR 錠 20mg アダラート CR 錠 40mg ニフェジピン L 錠 10mg「サワイ」	ニフェジピンカプセル 5mg「サワイ」
バルプロ酸ナトリウム	デパケンR錠 100mg デパケンR錠 200mg セレニカR錠 200mg(院外) セレニカR錠 400mg(院外) セレニカR顆粒 40%	デパケンシロップ 5% デパケン細粒 40%
パロキセチン塩酸塩水和物	パキシル CR 錠 12.5mg パキシル CR 錠 25mg(院外)	パキシル錠 5mg
プラミペキソール塩酸塩	ミラベックス LA 錠 1.5mg(院外) ミラベックス LA 錠 0.375mg(院外)	ビ・シフロール錠 0.5mg
ベラプロストナトリウム	ベラサス LA 錠 60 $\mu$ g	ベラプロスト Na 錠 20 $\mu$ g「ファイザー」
モルヒネ硫酸塩水和物	MSコンチン錠 10mg MSコンチン錠 30mg モルペス細粒 2% 10mg/包	-
ロピニロール塩酸塩	レキップ CR 錠 2mg レキップ CR 錠 8mg	-

なお、徐放性製剤は粉砕および溶解後に投与すると徐放性が失われてしまい、血中薬物濃度の急激な上昇をきたし、副作用を発現しやすくなりますのでご注意ください。